

学校だより



遠景

令和5年度 釧路町立遠矢中学校3月号 No.12

＜教育目標＞

自ら進んで学習し、基礎・基本が定着した生徒（知）
自他を大切に、粘り強く最後までやり抜く生徒（徳）
健康でたくましい生徒（体）

発行責任者：校長 佐藤 毅 令和6年3月22日発行

「一生燃焼 一生感動 一生不悟」

校長 佐藤 毅

去る3月15日に第77回卒業証書授与式が挙行され、27名の3年生が本校を巣立っていきました。

式を通して3年生が威風堂々としており、彼らの大きな成長を感じられました。また、同時に、在校生である1, 2年生が3年生の一挙一動を見逃すまいと集中した態度で式に臨み、とても厳粛で、そして温かい雰囲気の中、素晴らしい卒業式を作り上げてくれました。日常的に丁寧な心の指導を行ってきた先生方に感謝したいと思います。普段からこの意識で学ぶことで、1, 2年生はもっともっと伸びることが可能であると考えています。是非、卒業生に負けず、次年度は大きく進化を遂げてほしいと思います。

以下、式辞より

二十七名の三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。三年以上続いたコロナ過も、昨年五月に一応の収束を迎え、今年度は制約がない状況での学校生活に戻ることができました。しかし、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症が季節を問わずに流行するなど、まだまだ落ち着いた一年間になりました。しかし、三年生の皆さんが常に落ち着いた姿を見せてくれたお陰で、一、二年生も安心して学校生活を送ることができたのだと感じています。また、本校の顔として、様々な場面で活躍を見せてくれました。

体育祭。各チームのリーダーとしてチームをまとめ、最後まで力を抜かず優勝目指して競技してくれました。

文化祭。自分たちで練習方法を工夫し、迫力のあるヨサコイソーランや感動的な演劇を披露してくれました。

修学旅行。どの見学地においてもグループで積極的に楽しむとする姿が素敵でした。

学校生活を通して、学級として、そして一人一人がとてもたくましくなり、大きな成長が見られました。

ところで、私はこれまでいろいろな場面で、「将来は自立して、社会で活躍できる人に成長してほしい」とお話ししてきました。また、そのための「知・徳・体」を学校生活の全てにおいて高めることが大切だと伝えてきました。「自立」とは「自分で立つ」と書きます。そして「日常生活での自立」、「社会生活での自立」、「経済的な自立」の全てを含んでいます。

皆さんは、今はまだ保護されている状況です。ですから、ご両親を含めて面倒をみてくれている方々を「保護者」と呼びます。しかし、早ければ三年後には社会に出ていくこととなります。その時には、保護されている状況から独立し、自分一人の力で生活していかなければなりません。皆さんの「知・徳・体」は準備できているのでしょうか。準備できていない部分、不足している部分、それが「課題」です。義務教育での九年間で皆さんはいろいろなことを学びましたが、「自分もう完璧」という人はいないと思います。でも、安心して下さい。還暦を迎えた私にも、校長として、そして、人として、まだまだ課題がたくさんあります。どんな人にも課題は必ずあるのです。大切なのは、自分の課題をしっかりと把握し、それを認めて、解決する努力を続けることだと考えています。自分が課題だと認めれば、それを指摘されても頭に来

ることはないはずです。これから進む進学先では、常に課題意識を持って、積極的に学んで欲しいと思います。

私は「人間、死ぬまで勉強だ」と考えています。そして、「課題」を一つ一つ解決していく営みこそが人生を充実したものにしてくれると考えています。

卒業する皆さんに、私の座右の銘である言葉を贈ります。それは、書家で詩人の相田みつをさんの「一生燃焼 一生感動 一生不悟」です。

自分のエネルギーを燃やし、いつも目の前にあることに全力で取り組んでいこう。全力で挑戦することで、たくさんのことを学び、感動を得ることができるはずだ。そして、少しずつ前進し、いろいろなことを理解できるはずだ。でも、全てのことを理解することはできないし、死ぬまで完璧な人にはなれないんだよな。そういう意味だと解釈しています。そして、常に私もそうありたいと考えています。是非、皆さんにも、たくさんの感動を得ながら、充実した毎日を過ごして欲しいと願っています。

さて、保護者の皆様、本日はお子様の卒業、誠におめでとうございます。

本校の教育活動に対し、ご理解をいただくとともに、常に落ち着いて対応していただき、本当にありがとうございました。そのお陰で、私たち教職員が、子どもたちへの教育活動に集中することができましたことに、心より感謝申し上げます。予期せぬ自然災害や、急激なスピードでいろいろなことが変化し、ますます生きづらい社会になっていくことが予想されます。その厳しい社会を生き抜き、充実した人生を歩むことができますよう、親として、人生の先輩として、そして、お互いに学び合う存在として、ご指導、ご支援下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、無限大の可能性を秘めた卒業生の皆さんがチャレンジを続け、自分の足でしっかりと社会に立ち、自分の能力を発揮して、社会に貢献できる人に成長してくれることを心から祈念し、式辞といたします。

【4月学校行事予定】

日	曜	主な活動	バス
1	月	【学年末・学年始休業中の連絡について】 (3/23~4/7) 平日…8:10~16:30 (※8:00から10分間、朝の打ち合わせを行っています) 電話:0154-40-3206	
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月	着任式 始業式	11:50
9	火	入学式 10:00- (9:20までに登校) (登校バス 30分繰下げ)	12:30
10	水	対面式 体験入部① 交通安全指導①	15:40 17:00
11	木	二計測(2・3年) 専門委員会① 交通安全指導② 部活動休止日	15:00 15:50
12	金	学力テスト(全) 体験入部② 交通安全指導③ ALT	15:40 17:00
13	土		
14	日		
15	月	全校朝会 二計測(1年) 体験入部③	15:40 17:00
16	火	全国学力学習状況調査(質問)(3年)	15:40 17:00
17	水	部活動発会式	15:40 17:00
18	木	全国学力・学習状況調査(国・数) 専門委員会②	15:40 17:00
19	金	職員会議 5時間授業 ALT	14:45
20	土	授業参観日① 教育課程説明会 PTA総会 学級懇談会	10:45
21	日		
22	月	振替休業日(4/20)	
23	火		15:40 17:00
24	水	保護者面談(1・2年)①	15:40 17:00
25	木	保護者面談(1・2年)② 心臓検診(1年) 前期生徒総会 ALT	15:40 17:00
26	金	保護者面談(1・2年)③	15:40 17:00
27	土	鉦根地区中学校春季バドミントン大会 中学校春季バスケットボール大会①	
28	日	中学校春季バスケットボール大会②	
29	月	昭和の日	
30	月	保護者面談(1・2年)④ SSW	15:40 17:00

○「ALT」外国語指導助手来校日 ○「SC」スクールカウンセラー来校日 ○「SSW」スクールソーシャルワーカー来校日

令和5年度教職員人事異動 5名の教職員が異動・退職

佐藤 毅 校長(2年間勤務)→退職

平成3, 4年度に本校校長を務めていた私の父、尚が58歳で亡くなりました。そして、59歳の私を本校校長として迎えていただき、2年間在籍し、この度定年退職を迎えます。この奇跡的な人事に感謝しながらの2年間、とても充実した教師生活を送ることができました。これも保護者の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝しております。

現在、情熱あふれる教職員が丁寧な教育活動を行っています。保護者の皆様にはより一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

遠矢中学校全生徒の「知・徳・体」の大きな進化を期待しています。

大変お世話になりました。

梶谷 祐真 教諭(1年間勤務)→鉦路町立昆布森中学校へ

遠矢中学校にきて、1年。とても短い間ではありましたが、生徒のみなさんと過ごしたこの1年間は、私にとって、とても貴重なものとなりました。ただ、行事にほとんど参加することなく去っていくことは、とても残念でなりません。もっとみなさんと一緒に勉強したかったです。また、保護者、地域のみなさま、温かく見守ってくださり、ありがとうございました。

阿部千可子 教諭(3年間勤務)→鉦路市立景雲中学校へ

グラウンドには鹿や鶴が散歩に訪れ、校舎の裏には谷地坊主が顔を出している自然と隣り合わせの遠矢中学校を去る日がやってきました。ほんの少し恥ずかしがり屋ですが心優しい生徒の皆さん、温かく見守ってくださった保護者の方々や地域の皆様、今日まで本当にありがとうございました。これからも遠矢中学校の皆さんの活躍を心から願っています。

岩岬 輝明 教諭(6年間勤務)→厚岸町立真龍中学校へ

振り返ればあつという間の6年間でした。生徒の皆さん、保護者の皆様に支えられながら私自身たくさんの勉強をさせてもらいました。ここからは遠矢中生の皆さんとは別々の道となりますが、遠くから皆さんの活躍を応援していきます。勉強に、部活に、行事に、全力を注ぎ未来を切り拓いていく力を磨ぎ澄ましていってください。今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。

諸澤 正美 公務補(7年間勤務)→鉦路町立遠矢小学校へ

7年間の思い出を一つ挙げるとすれば、やはり遠中3大行事の1つ体育祭です。「川」「夕日」に分かれて最後のリレーです。生徒が目目を輝かせて一生懸命走る光景には毎年感動したものです。遠中グラウンドは水はけもよく、鶴や鹿、ヘリコプターまで来る最高のグラウンドです。遠中生よ、グラウンドで輝いてください。勉強も頑張って立派に卒業してください。教職員の皆様、益々のご活躍を願っています。7年間ありがとうございました。

第77回卒業証書授与式 27名の3年生、堂々と卒業

3月15日

(金)、第77回卒業証書授与式が行われ、学校長より27名の卒業生に卒業証書が手渡されました。



在校生代表の田保春真くん(生徒会長)は、送辞の中で「3年生は僕たちの模範となり引っ張ってくれました。短い期間の中で演劇やモザイクアートなどを凄まじい努力の末に仕上げ、その熱意に感動しました」と述べ、「これからは僕たちがこの遠矢中学校を引っ張っていきます」と卒業生に向け、約束しました。

卒業生代表の河合李應くん(前生徒会長)は、答辞の中で「友達を大切に中学校生活を全力で楽しんでください」と思いやりのある積極的な行動を訴えました。また、「4月、『鯉である君たちが卒業するときには龍になってほしい』と学級担任の土蔵先生の思いが込められた鯉の絵が黒板に描かれていました」と振り返り、将来、小さな龍から大きな龍になれるよう成長したいと決意を示しました。

今回から「式歌」が再開し、杉渕夢来くんの伴奏で卒業生が『旅立ちの日に』を涙をこらえながら歌いました。中学校生活の思い出や将来に対する期待が伝わってくる歌でした。

卒業生は、在校生や教職員に見守られつつ、遠矢中学校から新たな進路へ堂々と巣立っていきました。